

# 特定外来生物

## アライグマについて

### ●強い繁殖力

繁殖力・環境適応力が非常に強く、生態系のバランスを崩し、在来種を捕食や競合により絶滅に追い込む可能性があります。

### ●被害発生

生息が広がった地域では、農業・漁業・生活(文化財、家屋、ペット)など、多方面にわたり被害が発生します。

### ●共通感染症

狂犬病や回虫など、人畜共通の感染症を媒介する可能性が指摘されています。

### ●誤った認識

他の獣と間違えてアライグマと気づかなかつたり、愛らしい外観や過去に放送されたアニメーションなどの影響により、危険な動物としての認識が一般的に低い。

「特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律」において「特定外来生物」として指定されているアライグマ(Procyon lotor)の目撃情報が県内で増加傾向にあります。



北海道、千葉県などでは急増し、トウモロコシ・野菜・果樹など、広範囲にわたり被害が深刻化しています。増える前の早めの駆除が効果的です。もし見かけた場合は、産業経済課耕地林務係までご連絡ください。

### 特定外来生物

外来生物法により 従来、日本に生息していなかった生物(外来生物)のうち、生態系、人の生命や健康、農林水産業に被害を及ぼすものを「特定外来生物」として指定し、法により飼養・運搬・輸入・野外への放出などが規制されている。

参考URL 環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

長野県ホームページ <http://www.pref.nagano.jp/kankyo/hogo/gairai/gairai.htm>

【問い合わせ先】 産業経済課耕地林務係 (内線62)

## 鳥獣害防止用爆音器を使うときは 注意してください

この時期から、スズメ、カラス、イノシシなど野生鳥獣から農作物被害を防ぐため、爆音器の使用が増えてきます。

爆音器を使用するときは、周辺の皆さんに迷惑がかからないよう注意してください。

- 住居から直線距離で200m未満の位置で使用しない
- 早朝、夜間は使用しない
- 爆音器に代わる、例えば防鳥網や電気柵などを使用しましょう

町では、防除施設設置の資材費に対して3分の1(上限10万円)の補助制度を設けています

【問い合わせ先】 産業経済課農政係 (内線27)

# 水の事故に遭遇したら

夏本番、家族などでプールや川、海で遊ぶ機会が増える時期です。それに伴い、毎年とっていいほど水の事故が起きています。溺れている人がいたらどうしたらよいか、次のことを参考にしてみてください。

## 溺れている人がいたら

### ①周りに助けを求める

○一人で助けようとせず周りに助けを求め、協力して助けるようにし、救助者の人数が多ければ、119番通報も同時に行いましょう。

### ②泳がないで助ける方法

- ごく近い場所では、救助者は腹ばいになり片方の手を差し伸べる。
  - ・腹ばいになることで地面との摩擦を大きくし、引込まれないようにしましょう。
- 浮き輪や空のペットボトル、クーラーボックスなど浮力のあるものを投げる。
  - ・浮き輪を使って助ける場合は、下手投げで溺れている人の後方に落ちるように投げるようにしましょう。
- ロープや長い棒を使う。衣服やベルトといったものを繋げてロープの代わりにして使う。

泳いで助ける方法もありますが、泳ぎが得意な人であっても危険です。助けに行った人が溺れるケースも多いため、ほかに手段がない場合の最終手段としてください。

## 助け出した後の処置

### ①体を温める。

- ・体が冷えていることが多いためタオルなどで温めましょう。

### ②脈や呼吸がない場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を行う。

- ・このとき無理やりお腹を押して水を吐かせないようにしましょう。

事故に遭遇したときの対処方法を知っておくことは大事です。しかし、事故を起こさないようにすることが最も重要です。海などに入る際は、体調は悪くないか、安全な場所であるかなどをよく確認してから泳ぐようにしましょう。

## 古い消火器には気をつけましょう

御代田町内において、駐車場に放置してあった未使用の古い消火器を子どもがを見つけ、遊び半分に使ってしまうということがありました。

辛い破裂もせずケガもありませんでしたが、錆びているような古い消火器は破裂する恐れがあり危険なので見つけても絶対に使用しないでください。また、屋外に放置したりせず業者に連絡し回収してもらおうようにしましょう。